

令和6年度 第3回 富岡小学校学校運営協議会議事録

14:40～15:40 (図書室)

1 開会の挨拶【会長】

- ・6年生を送る会は、在校生の気持ちのこもった会だった。
- ・この度の大雪で、富岡線のグリーンベルトを、地域の方が除雪してくださっているのを見かけた。地域の方が、子どもたちを見守っている姿に感謝したい。

2 校長の挨拶【校長】

- ・6年生を送る会は、5年生を中心に1～4年生と協力しながら、準備・運営を行った。6年生も、卒業式前で時間がない中、ありがとうという気持ちで発表を創り上げた。児童会活動という位置付けで、子どもたちが主体となって取り組んだ活動だったが、このような主体的な子どもたちを今後も、育てていきたいと思っている。

3 令和6年度の総括と令和7年度学校運営の基本方針の承認

- ・令和6年度の学校経営について【校長】

＊プレゼン資料で説明

○働き方改革について、R5年度よりR6年度の方が、若干超勤超過率が多い要因は何か？

→赴任1年目の職員は、学校になれるまでに時間がかかることが、特に春先の超過勤務につながっていると考えられる。また、大きな行事前においてその主任の負担が大きいため、超勤につながっている。

- ・後期学校評価の結果児童の成果と課題について【教頭】

＊後期学校評価アンケート結果と3部会の資料をもとに説明。

○先日、某小学校の学校運営協議会でSNSの話題が上がった。子どもたちにとって、SNSが人間関係づくりに影響を及ぼしているという。中学校へ行くと、ほとんどの子どもたちに、家庭がスマホを買い与えているという実態があるらしいが、富岡小の実態はどうか？

→スマホの所持率は把握できていないが、LINE等で友達同士のつながりはあるようだ。富岡小では、メッセージのやり取りが不登校傾向の子どもたちの心の支えになっている様子を聞く。ただし、夜中に、友達やSNS上で知り合った人とやり取りしている子どもたちがいることも聞いている。

→よりよい生活習慣を身に付けるために、令和7年度は、親と子どもが一緒に考え、家庭で取り組むルールづくりをしながら、啓発していこうと考えている。

○講演等で、親子で考える機会を設けたり、保護者連絡アプリを使って家庭への啓発活動を発信したりするのもよい。

→スマホを持たせないという時代ではなくなっているので、どうやってうまく付き合っていくかが課題である。親子で考える機会を、学校が提示していくことは大切なことだと考える。

○SNSだけではなく、不登校傾向の子どもたちには、タブレットのGoogle クラスルーム等でつなぐことも良い方法だと思う。

○6年生を送る会の様子を見て、とても心が温まる会だと感じた。6年生は、堂々としていた。会が終わった後、企画・運営の中心となった5年生が、1～4年生に会の協力に対するお礼を言っているのは、初めて見た。5年生の細かく丁寧な計画の賜物だと感じた。このようなお互

いを思いやることを継続することで、つながりが生まれると感じる。

○本に親しむことについて、図書室が3階にあるのは、やはり大変だと感じる。担任が、図書室から学級文庫に持ち出すのが良いと思う。また、高田図書館から借りる（用務員に取りに行ってもらって）方法もある。「昼チャレ」の設定は、本に触れ合うという点では、とても良い。

・令和7年度グランドデザインについて【校長】

＊説明後、承認

・令和7年度教育課程について（地域学校教育活動の視点から）【校長】

＊説明後、学年部チーム制や校時表の見直し等、承認

・令和7年度学校行事予定について【校長】

＊主な学校行事について説明

5 その他

＊令和7年度の学校運営協議会委員の推薦をさせていただいたことを知らせた。

6 閉会の挨拶【副会長】

・第3回学校運営協議会、いろいろなご意見、ありがとうございました。子どもたちの豊かで、よりよい未来を育めるよう、学校・地域・家庭が協力して、子どもたちを見守っていきましょう。